

令和7年度 主な施策と予算額

新・・・新規事業
 拡・・・拡充事業
 継・・・継続事業

重点政策

子育て支援 「こどもまんなか」

0歳から18歳まで切れ目なくサポート



新

(仮称)さきたま古墳公園 広場子どもの遊び場事業 構想検討事業 33万7千円

さきたま古墳公園広場に子どもの遊び場を整備するに当たり、検討事項について議論し取りまとめを行います。

拡

子ども等多世代の居場所 づくり支援事業 888万8千円

家や学校以外で子どもたちが自分の居場所として感じ、多世代と交流できる第3の居場所づくりを支援します。

教育の充実

魅力ある学校づくり

重点政策

拡

英語のできる行田っ子育成事業 7,231万6千円

全小・中学校への外国語指導助手(ALT)の配備や、全幼稚園への外国語指導員の派遣に加え、英語力判定ツールの導入や文部科学省が実施するAIの活用による英語教育強化事業に申請するなどさらなる英語力の強化を図ります。

拡

学校再編事業 2,547万9千円

学校再編により、設置する義務教育学校の設計・工事を進める上での基本的な考え方や方針を示す「基本構想」を策定します。

拡

3歳未満児保育料無償化事業 1億768万7千円

子育て世帯の経済的負担を軽減し、子どもを産み育てやすいまちづくりを推進するため、国に先駆けて、所得制限のない3歳未満児の保育料の無償化を引き続き実施します。
 ※事業費は3歳未満児の保育料無償化相当額

拡

おうち子育て支援事業 4,614万9千円

未就園の0歳6カ月から3歳未満児を対象とした「こども誰でも通園制度」(国の試行的事業)を5園から6園に拡大して実施します。また、未就園の0～2歳児の保護者に対する旧忍町信用組合店舗内カフェ(ヴェールカフェ)利用券を配布します。

拡

子ども医療費支給事業 2億4,314万3千円

入院・通院ともに18歳に達する日以後最初の3月31日まで医療費の助成を行います。



拡

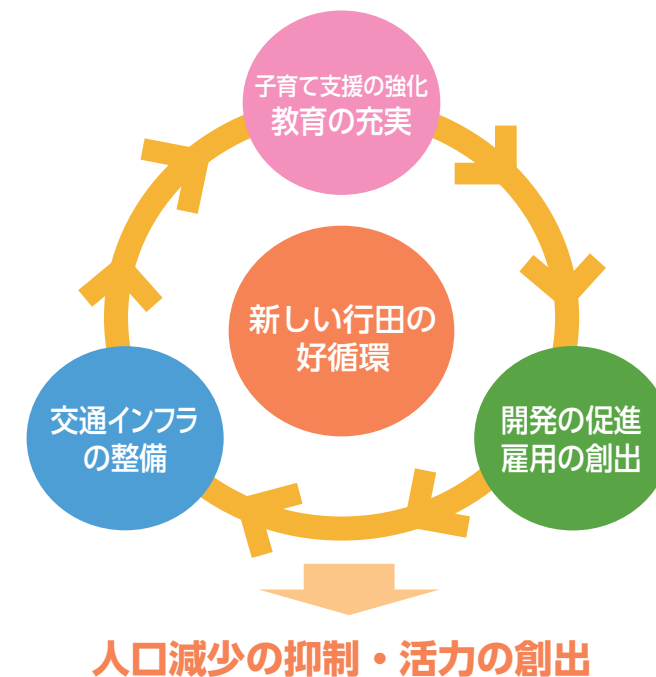
水泳授業民間委託事業 1,921万8千円

小学校の水泳授業で、民間のスイミングスクールを活用する授業実施を4校から6校に拡充します。

令和7年度 当初予算をお知らせします



新しい行田の好循環



本市の最も深刻な問題、最重要課題は人口減少を抑制することです。その中でも特に、若年層の流出を食い止め、まちの活力を創出することが何よりも重要です。

令和5年、令和6年は、全体としては社会増による転入超過が続いているものの、若年層でみると依然として転出超過の傾向がみられ、特に外国人の留学生を除く20代から30代の日本人女性の転出が顕著となっています。

こうした状況を打破するためには、こどもまんなか子育て支援、教育の充実、雇用の創出と企業誘致などの開発促進、そのときにネックとなる交通インフラの整備、これらを同時かつ強力に推し進めていく必要があります。

令和7年度は、新しい行田への種まきをさらに強力に推し進めるため、一般会計では、総額308億4千万円の予算を措置しました。

今年度も「みなさんといっしょに」歩みを進めてまいります。

重点政策

子育て支援の強化
教育の充実



開発の促進
雇用の創出



交通インフラ
の整備

一般会計

308億4,000万円 前年度比+7.8%

過去最大